令和2年　国語前期A解答

前期A

		問題番号	解答	配点	小計点	備考
第1問	問1	1	5	3	50点	
		2	3	3		著者:松本清張
		3	5	3		
		4	1	3		或る「小倉日記」伝
	問2	5	4	3		
		6	1	3		新潮文庫
	問3	7	2	4		
		8	1	4		
		9	2	4		
		10	3	4		
	問4	11	1	4		
	問5		下参照	6		
	問6		下参照	6		
	問5解	原本は「早くよくなって、あれを完成させろよ」 耕作を気づかい、早く良くなってほしいという気持ちを伝える言葉があれば、3点。 「小倉日記」をまとめて完成させようと激励する言葉があれば、3点。 上記2点の内容がなくても、江南が自ら小倉日記を完成を手助けする旨の言葉があれば3点加点。				
	問6解	原本は、「不幸か幸福かはわからない」 ここは、作者の主観に基づく意見であるので、一通り文章の意味が通っていれば3点。 良かったのか悪かったのかどちらとも言えない意味の文章が書かれていればさらに3点				
第2問	問1	12	2	4	50点	
	問2	13	5	4		著者:齋藤　孝
	問3	14	1	5		
	問4	15	1	5		孤独のチカラ
		16	2	5		
		17	4	5		新潮文庫
		18	1	5		
		19	3	5		
	問5		下参照	6		
	問6		下参照	6		
	問5解	＜模範解答例＞文中の言葉より 死を終わりととらえない。 死は生の延長線上にある。 生と死を一緒くたにとらえる。 以上の要旨が書かれていれば、6点。不足は随時減点。				
	問6解	＜模範解答例＞ 死というものを自覚して、自分の可能性を見つめどう生きていくかということ（36文字） ・死をいつも自覚していること ・その中で自分がどう生きていくべきかを見つめていること。 以上の2点を主題にして書かれていれば6点。				